



株式会社四国道後館 SDGs宣言

当社は、「古き良きものと新しいものの組み合わせによる新しい価値の創造を念頭に、独自性の豊かな施設・サービス・料理の提供で顧客満足度を高め、地域のブランドイメージ向上に貢献する」という経営理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2023年2月17日

株式会社四国道後館

代表取締役社長 仁田 一郎



重点項目(ターゲット2030)

道後ブランドの発信

全国、海外から来県されるお客さまに、おもてなしの心で、地元道後の魅力をご堪能頂きます。道後のファンを増やし、地元還元することで地域の発展に貢献します。

【主な取り組み】

観光情報の発信、県産食材の使用、地元雇用の創出、地元中高生の職業体験受け入れ、地域行事への参加、事故や災害時等の役割分担



お客さまの安全安心のために

災害時における自家発電や井戸水の確保の他、平常時でもすべてのお客さまが安心・満足して宿泊いただけるようバリアフリー設備を整え、従業員サービスを充実化していきます。

【主な取り組み】

自家発電設備、飲料水のための井戸設備、バリアフリー化、階段昇降機・車いす用トイレの設置、安全基準・防災マニュアルの整備、従業員研修の実施



ダイバーシティの推進

年齢や国籍、性別等の別なく、従業員一人ひとりが健康で、生き生きと働くことが出来る職場づくりを推進します。

【主な取り組み】

女性の要職への積極登用、外国人・高齢者・障がい者の活躍推進、ハラスメント対応、有給休暇の取得推進、職務・役割等に応じた研修等の整備



環境保全への取り組み

LEDや省エネボイラー、EVの充電スタンド等、環境に優しい設備を導入しCO₂削減に貢献しています。またお客さまに事前にアレルギーや苦手な食材を確認し、フードロスの削減に努めています。

【主な取り組み】

館内照明のLED化、省エネボイラー設置、EV用の充電スタンド設置、バイオマス素材のアメニティグッズへの変更、お客さまへの事前確認によるフードロス対策



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。